

令和3年度 地域振興推進費事業実績一覧

佐久地域振興局

施策の柱	No	事業名	主な担当課・所	実績額(円)	成果指標・目標値	達成状況	事業実績・成果
佐久「地消地産」プロジェクト	1	佐久の地域農産物PR事業 ～ afterコロナに挑戦 農産物の活用促進 ～	佐久農業農村支援センター	1,137,930	○制作動画の平均視聴回数 100回以上 ○PRチラシの配布数 2000枚 ○アレンジメントフラワーの展示回数 8回	達成	【動画作成】 ○地元食材のPR動画を3本作成し、12/24からYouTubeによる情報発信を行った。3月末までの3動画の視聴回数は8,300回となり、多くの方に佐久地域の食材をPRできた。 ○動画PRのため、ポスター300枚、リーフレット5,000枚を作成し、市町村、直売所等で配布した。 【花の展示】 ○7月末からワークテラス佐久において週替わりで地元産花きを使ったアレンジメントをの展示を9回実施し、リゾートテレワークで利用する県外企業にも地元産花きを知ってもらうことができた。 ○12/13から1週間は「佐久 花の週間」とし、合同庁舎の玄関、各階エレベーターホール等に佐久の花(アルストロメリア)を展示した。
	2	佐久の酒魅力発信事業	商工観光課	88,000	○中吊り広告掲出による列車利用者への訴求(輸送実績等より推計) 1回(11.7万人)	達成	○佐久地域星ラッピング車両情報発信事業で作成した、しなの鉄道佐久地域星ラッピング「晴星」の運行に合わせて、列車内で佐久地域の日本酒の魅力発信する中吊り広告を約1か月間掲出した。 ○出発当日は、列車内のアナウンスで、佐久地域の日本酒の魅力をPRした。 ○短期間の掲出ではあったが、1両分すべての中吊り広告を利用し、列車が運行される北信地域までPRできたことは効果があり、素材の提供等にご協力いただいた長野県酒造組合佐久支部からも評価をいただいた。
星・宇宙を学び、楽しむプロジェクト 高い晴天率を活かした青空の下で楽しむプロジェクト	3	佐久地域広域観光推進事業	商工観光課 企画振興課	3,284,638	○メディアによる情報発信(ニュース等による発信) NHK、県民放送4社TV放映 ○鉄道雑誌等による情報発信 鉄道雑誌2社 ○キャンペーン期間における列車予約実績前年同月以上	一部達成	【佐久地域星ラッピング車両情報発信事業】 ○車両の塗装及びラッピングが完了し、令和6年3月までの約2年6か月間定期列車として運行予定。 ○令和3年9月26日に小諸駅で出発式を開催し、小諸市立戸原中学校吹奏楽部の演奏、ヘッドマークのお披露目、愛称発表者への記念品贈呈、アルクマによる盛り上げ等を行った。臨時列車に往復延べ約70名が乗車した。 ○デビューにあたり列車の愛称を公募し、「晴星」に決定した(応募606件、投票455件)。 ○運行開始後1か月間は車内中吊りに観光物産PRポスター(小諸市、南牧村、軽井沢町、御代田町、佐久地域振興局商工観光課)を掲出し、佐久地域の観光や日本酒等物産のPRを行った。 【観光列車を活用した観光振興等の取組】 ○JR東日本と連携し、1月8日から1月30日の間、HIGH RAIL 1375への乗客を対象とした「お年玉」キャンペーンを実施。 ○キャンペーン期間中は、乗客全員に記念品(佐久地域絶景ポストカードやJR東日本提供のHIGH RAIL 1375オリジナルコースター等)及び特産品プレゼントへの応募ハガキをアテンダントより配付した。 ○配付物には、特産品の説明と観光情報が掲載されている県HP等のQRを掲載したチラシを同封し、PRを行った。 ○今後の施策に活用するため、応募ハガキによる乗客アンケートも実施し、佐久地域の訪問理由やキャンペーンを知ったきっかけ等の聞き取りを行った。 ○特産品には、農産物、日本酒、スイーツなどいずれも佐久地域を代表する品々を農業農村支援センターとともに選定。 ○総計271通の応募があり、当選された17名に対して2月中旬に特産品を郵送した。
高い晴天率を活かした青空の下で楽しむプロジェクト	4	さくっとサイクルプロジェクト	商工観光課	869,466	○推奨ルートの所在市町村の割合 8割以上 ○サイクルラックの設置市町村の割合 100%	達成	○佐久地域のカラマツ材を使用したオリジナルサイクラック20基を作成し、全市町村のコース上の休憩スポット等に設置した。(立科町は既設のラックあり) ○市町村や地域のサイクリストとの連携によって、佐久地域全体を網羅するサイクルコースを作成し、自転車ルート掲載アプリ「Ride with GPS」に約30コースを掲載した。 ○アプリ以外からもコースを閲覧できるように幅広い層への周知を行うため、代表的なコース(4コース)と周辺観光スポットを掲載した携帯サイクルマップ(紙)を5,000部を作成した。 ○上記内容を取りまとめたホームページを作成
佐久地域の移住スタイルの探求 佐久地域の特色ある教育・子育て環境のPR	5	佐久地域の移住スタイル発信事業	企画振興課	710,200	○セミナー参加者のアンケート満足度 8割以上 ○セミナーへの参加者数 15名	達成	【佐久地域移住・教育オンラインセミナー】 ○全国から28名(組)の参加者があり、佐久地域の魅力や教育団体の特色を広く知ってもらうことができた。 ○事後アンケートでも「とても満足」「満足」の割合が100%で目標値を超える満足度を得られた。 ○佐久地域の先輩移住者3名に登壇いただき、移住体験者の生の声を届けることができた。 【佐久地域テレワークオンラインセミナー】 ○全国から36名(組)の参加者があり、コロナ禍における佐久地域での新たな働き方の可能性を広く知ってもらうことができた。 ○事後アンケートでも「とても満足」「満足」の割合が88%で目標値を超える満足度を得られた。 ○佐久地域でテレワークやワーケーションに関わる5名にゲストスピーカーとしてご登壇いただき、佐久地域におけるテレワークやワーケーションの現状や実践等、生の声を届けることができた。
意欲ある地元企業との連携と情報発信	6	地域循環共生圏創出に向けた再生可能エネルギー情報発信・体制整備事業(佐久地域ゼロカーボン推進事業)	環境・廃棄物対策課	577,500	○ワークショップ参加企業(2年間) 5社	一部達成	○地域全体での再生可能エネルギー活用の現状把握並びに地域内での循環利用の取組に向けた機運の醸成及び市町村や事業者等との連携のために、ステークホルダーとなる事業者との連携ができたことである。 ○また、再生可能エネルギー活用の機運を醸成するための動画の作成や子どもたちのアイデアによる未来予想図を作成する情報発信手段を作成することができた。 ○ただし、新型コロナウイルスの影響により、開催回数の減少やイベントでの利用機会が減少した。
CO2吸収源としての森林の保全と利活用 いづれ佐久カラマツ活用プロジェクト	7	佐久カラマツ林業推進事業	林務課	-	新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業中止		
さくっと「ずく出す」プロジェクト	8	さくっと「ずく出す」プロジェクト	佐久保健福祉事務所	47,000	○運動支援ボランティア(ずく出すサポーター)を活用する市町村数 7市町村以上 ○自主的に活動する運動支援ボランティア 5人以上	一部達成	○「ずく出す」ネットワーク会議では、地域での運動を中心としたフレイル予防の展開を市町村、関係団体と協議を行い、関係者の連携を深める機会となった。 ○ずく出すサポーターフォローアップ講座は、当初は12月中旬にWeb併用のハイブリット方式で開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症のまん延状況により、延期を経て、3月22日にWebのみで開催した。当日はフレイル予防について、食生活と運動の両面からの講演を行うとともに、地域で展開するずく出すサポーターの実践発表を行った。参加者からは、住民主体のフレイル予防の事例が非常に参考になったとの声があがった。 ○コロナ禍で、ずく出すネットワーク会議のメンバーも思うように活動できなかったため、運動チェックシートの実施が十分にできず、また、活動しているボランティア(ずく出すサポーター)も5人に達しなかった。市町村単位でシニア世代に対する取組が様々な工夫され、運動支援ボランティアを活用している市町村数は昨年度より1増え7市町村となった。 ○佐久地域では、住民が住民のために介護予防を図るといふ動きも出てきた。
	9	佐久平プレメディカルケア産業情報発信事業	商工観光課	-	新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業中止		
	10	さくっと「ずく出す」プロジェクト ～働き盛りのための運動セミナー～	東信教育事務所	190,540	○企業・各種団体等が開催する運動教室への講師派遣回数 4回以上 ○企業・各種団体等が開催する運動教室への参加者数 60人以上 ○文化財ウォーキング講座への参加者数 20人以上 ○動画の制作・配信回数 5回以上 ○制作動画の平均視聴回数 100回以上	達成	【運動教室への講師派遣事業】 ○主催団体の希望に応じて講師の派遣できた。(申込数8件のうち、4件は感染拡大防止のため中止) 【動画制作・配信】 ○当所の公式YouTubeチャンネルにて、健康運動動画を配信し視聴者の運動の促進を図った。配信動画が、立科町ケーブルテレビで番組として継続放映された。また、日本ボールウォーキング協会から研修会等での活用依頼があった。 【運動用具の貸出】 ○当所ホームページやチラシでの宣伝を行い、多くの団体へ貸出ができた。 【文化財健康ウォーキング講座】 ○コロナ禍による①の申込減少を受けて、当所主催の「文化財めぐりボールウォーキング講座」を小諸駅周辺にて開催した。講師2人と文化財ガイドを1名派遣し、参加者から高い満足度を得られた(満足度4.89/5段階中)。
佐久「地消地産」プロジェクト	11	さくさく野菜食べよう350推進キャンペーン	佐久保健福祉事務所	392,000	○食塩摂取量の減少(佐久地域男性11.3g、女性11.6g) 減少 ○健康意識の向上(出前講座等のアンケートで把握)(R1塩分チェックシート)塩分を気をつけている人の割合「男性54.4%、女性71.5%」 増加	一部達成	○食塩摂取量については、栄養調査等の実施がなく、実態把握ができなかったが、塩分チェックシートによる簡易チェックによると、R元年「男性14.8 女性12.6」が、「男性14.2 女性12.0」と若干減少し、食塩摂取量の減少傾向がみられた。塩分への意識である塩分を気をつけている人の割合は、男性51.3%、女性76.7%となり、女性では改善が見られた。 ○食と健康に関する情報発信イベント「健康づくりと食のつどい」を3月22日に開催した。当初は1月22日にWeb併用のハイブリット方式で開催の予定であったが、新型コロナウイルスのまん延状況に鑑み、延期の上、Webのみで開催した。食を健康面だけでなく、SDGsの視点で考える等、様々な切り口で捉えることができた。開催後のアンケートでも、参加者からは好評であった。 ○市町村の保健指導、乳幼児健診等で、野菜摂取と適正な塩分摂取に活用できるようリーフレットを作成した。 ○健康づくりのボランティアである食生活改善推進員の協力を得て、野菜の摂取を行うための具体例として、レシピカードを作成し、直売所、スーパー等に配付を行い啓発普及を図った。 ○年度当初に、市町村や栄養士、養護教諭、食生活改善推進員、農村生活マイスター等の食に関する関係機関による食育推進連絡会を開催し、関係機関との連携を図った。
	12	ポールを使ったウォーキングによる健康長寿をめざすヘルスツーリズムの仕組みづくり	商工観光課	-	新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業中止		
高い晴天率を活かした青空の下で楽しむプロジェクト	13	小海線沿線や幹線道路周辺のビューポイントの発掘とその魅力発信、視点場の整備	佐久建設事務所	396,000	○ビューポイントの案内看板設置 3箇所	達成	○過年度に発掘した佐久管内のビューポイント箇所(小海町)において案内看板の設置を実施した。 ○看板のデザインおよび設置位置は、町のイメージや意向に沿った看板となるよう、町と密に調整を行った。
-	14	佐久管内県機関の情報発信事業	総務管理課	660,000	○定時における情報発信 毎週1回以上 ○情報発信を実施する県機関(所属)数 前年度以上	達成	○エフエム佐久平において、毎週金曜日の7時21分から約8分間にわたり、1年間(合計52回放送)佐久管内県機関から住民の皆様に向けてほしい情報を発信する番組の放送を実施した。 ○今年度は、喫緊の大きな課題である「新型コロナウイルス」について、時機を捉えた広報を行うことができた。 ○さらに、「佐久酒造組合」や「おいしい信州ふるさと名人」など多様な方々に出演いただくことで、番組の認知度を高め、県業務の周知や地域の活動などの県民の理解度を深めることができた。
-	15	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等事業	総務管理課	433,100	○地元放送局を通じた感染防止対策徹底・ワクチン接種の必要性についての呼びかけ 3回 ○地元新聞社を通じた感染防止対策徹底についての呼びかけ 2回 ○感染防止策の徹底について管内事業者等への巡回啓発 1回以上 ○佐久管内の3回目ワクチン接種率(3/9現在 34.6%) 40%以上(3/23現在)	一部達成	○新型コロナウイルスの感染拡大状況やワクチンの接種状況を鑑み、時機を捉えた広報活動を行った。 ・4/8～22:特別番組に係るスポット広報 ・5/19～31:デルタ株に係るスポット広報及び新聞広告(5/21掲載) ・7/22～25:感染対策強化期間に係るスポット広報 ・8/6～22:特別番組に係るスポット広報 ・8/6・17・30、1/25・26、2/18:酒類を提供する飲食店等に対し文書の発出と巡回啓発を実施。 ・3/18～20:ワクチン3回目接種率の向上のためのスポット広報 ○地元新聞社を通じた広報は、若年層への感染拡大状況を鑑み、ラジオのスポット放送に振り替えて実施した。

執行区分	令和3年度	令和2年度
当初予算額(A)	10,424,000	10,710,000
実績額計(B)	8,786,374	9,703,868
執行残額(A-B)	1,637,626	1,006,132
執行率(B/A*100)	84.3%	90.6%

評価区分	令和3年度	令和2年度
達成	7事業	7事業
一部達成	5事業	3事業
未達成	0事業	3事業
合計	12事業	13事業

※中止3事業は含めず ※中止4事業は含めず